

カリキュラム区分		5カリ		シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	M107	1年	前期	医療技術科学	選択	英文献講読 Readings in English Medical Articles	15	1
担当教員								
尾上 智子								
関連するDPキーワード（看護学専攻）								
① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）								
① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
○ ③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
○ ⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的								
<p>本授業の目的は次の2つである。①医療関連分野の英語の論文の講読を通じて、語彙を文脈で捉えながら学術論文を読む力を身に付けること。②多文化共生時代の医療現場で求められるコミュニケーションとはいかなるものであるか議論し、外国人患者・住民の対応において役立つコミュニケーションの方法について考察すること。</p>								
到達目標（授業目標）								
<p>①英語で書かれた専門書や学術論文を、辞書を用いて独力で読むことができる。②英語で書かれた専門書や学術論文の内容を要点を整理しながらまとめ、他者にわかりやすく説明することができる。③多文化共生時代の医療現場において必要となるコミュニケーション方法について基本的な理解が身に付いている。</p>								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	オリエンテーション / 論文講読のポイント：論文の構成、担当論文の決定							
2回	講読・発表1：担当論文の講読・発表							
3回	講読・発表2：担当論文の講読・発表							
4回	講読・発表3：担当論文の講読・発表							

5回	講読・発表4：担当論文の講読・発表
6回	多文化共生時代の医療現場①：講義、ディスカッション
7回	多文化共生時代の医療現場②：講義、ディスカッション
8回	多文化共生時代の医療現場③：講義、ディスカッション
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	
14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
発表（50％）、授業参加（50％）。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	資料を配布します。
参考図書等	適宜、紹介します。
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）	
毎回、異なる論文を読みます。論文を全訳したうえで講義に臨んでください。	
関連科目	
前科目	
後科目	専門科目すべて
実務家教員	
備考	英和辞典を持参してください。